



鈴木克隆さん、荒谷隆志さんが県褒賞受賞

民生委員・児童委員として長年、社会福祉向上に貢献してきた鈴木克隆さん（柏）と、県りんご共同防除連絡協議会会長としてりんご産業の振興発展に貢献してきた荒谷隆志さん（柏）が2012年度県褒賞を受賞し、12月13日、福島市長に報告しました。

受賞した鈴木さんは「少子高齢化が進み、民生委員の仕事が多くなってきたが、協力し合って頑張っていきたい」と述べ、荒谷さんは「今までは良いりんごを作ることだけを考えてきたが、これからの農家はさらに経営面も考える必要がある。私は共同防除の組織で育てられたので、今後は後進を育てていきたい」と抱負を話していました。



県褒賞を受賞した鈴木さん(左)と荒谷さん(右)



講座後、認知症サポーターの証のオレンジリングを手にする参加者ら

認知症について理解を深める

認知症の人やその家族を応援する認知症サポーター養成講座が1月24日、広須老人憩の家で開催され、地区の住民21人が参加しました。

この日は、認知症に対する正しい知識と対応方法を市民に伝える「つがる市キャラバンメイト」の成田和代さん、葛西智子さん、坂田真理子さんが講師を務め、成田さんが「85歳以上の4人に1人は認知症と言われている。もし認知症になっても周りの人の理解やサポートがあればおだやかに生活できる」と講話。葛西さんと坂田さんが認知症の人と接する心構えを寸劇で披露し、参加者は家族や地域の支え合いの大切さについて理解を深めていました。

安心・安全のまちづくりに感謝

平成24年警察協力功労者表彰式が1月10日、松の館で行われ、地域での交通安全運動や防犯活動などに貢献した市内の4団体、13個人が表彰を受けました。

この日は、相馬完つがる警察署長が「多大な支援に感謝いたします。今後も皆様のご協力を賜りながら、市民に信頼される警察署を目指し尽力して参ります」と式辞を述べ、一人一人に感謝状を手渡しました。

その後、もりた保育園の田中潔園長が受賞者を代表して「今、地域の連帯、家族の絆が求められています。これからも地域住民一丸となって安心・安全のまちづくりに取り組んでいきます」と謝辞を述べました。



感謝状を受け取る警察協力功労者



先人たちへの感謝を込め執り行われた神事

牛瀧町生誕400年を記念し町内会が式典

牛瀧町内会（小山内竹一会長）は、牛瀧町生誕400年を記念して12月19日、牛瀧八幡宮で式典を開催し、ふるさとを築いた先人たちへ感謝し、新田開発の歴史に思いをはせました。

同町内会は、慶長17年（1612年）赤石沢種里から来た石籠与助という人が牛瀧村に近野沢溜池と瀧溜池を築き、山田川まで排水路を工事して田畑15ヘクタールを開発したことを現在の牛瀧町の始まりとし、400年の記念事業を行いました。牛瀧八幡宮での神事には同町内会役員ら21人が出席。玉串をささげ、4世紀に渡る苦難と躍動への歩みをかみしめ、さらなる郷土の発展を誓い合いました。



つがる市民診療所の建設工事安全を祈願

つがる成人病センターに代わり新築される、つがる市民診療所の安全祈願祭が12月26日、松の館で行われました。

安全祈願祭にはつがる西北五広域連合や市、工事関係者ら約120人が出席し、代表者が玉串をささげ、工事の安全を祈願。平山誠敏連合長は「地域に密着した初期医療の提供とともに、つがる総合病院のサテライト医療機関としての役割を担い、医療機能の充実・強化に努めます」、福島市長は「医師確保にしっかりと取り組み、安心して住民が利用できる診療所として、つがる総合病院などと連携しながら新たな役割を果たしてほしい」と述べました。

診療所は平成25年12月に建設工事が完了し、26年3月に開設予定です。



工事の安全を祈願する福島市長

木造剣礼会が県剣道新人大会で連覇

青森県少年剣道新人錬成大会の小学生低学年（3年生以下）の部で木造剣礼会（松本政樹会長）が昨年に引き続き優勝を果たし、1月29日、葛西教育長に喜びを報告しました。

大会には三浦有楽君（向陽小）、長内千明さん（瑞穂小）、木村雄飛君（穂波小）、木村颯也君（同）、工藤恵比寿君（向陽小）が出場。トーナメントを順当に勝ち進み、決勝戦では青森市の錬武館を3対1（1引き分け）で破り見事2連覇を達成しました。報告を受けた葛西教育長は「連覇はすごい。よく頑張りました。これからも剣道を通して多くのことを学んでください」と選手たちを激励しました。



連覇を果たした木造剣礼会の選手たち（前列）

郷土かるた札取り合い熱戦

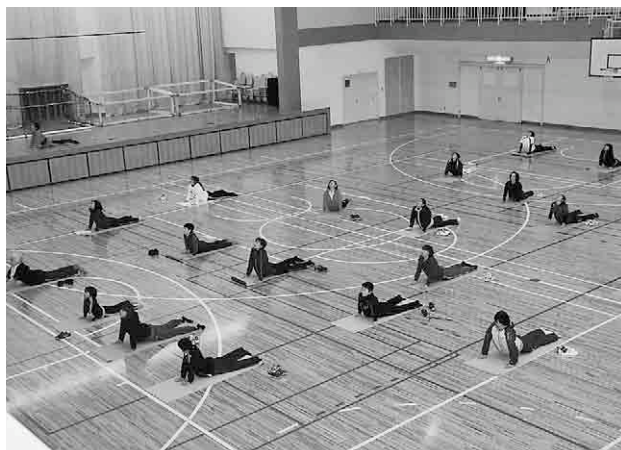
稲垣子ども会育成連絡協議会（斉藤明会長）が主催する郷土かるた大会が1月13日、稲垣公民館で行われ、小学生35人が学年対抗で熱戦を繰り広げました。

大会は子どもたちに郷土の文化や風土などを継承しようといわれ、札には「川沿いの一本タモを 目印に 昔の人は 舟をこいだと」などが書かれています。児童たちは読み手の声に集中し、上の句が読み上げられると一生懸命、札を探し「はい」と大きな声をあげて札を取っていました。

各学年の優勝者は次のとおりです。斉藤光輪（6年）、葛西真愛（5年）、中島谷奎祐（4年）、小見山結多（3年）、中島谷萌那実（2年）、葛西駿介（1年）



元気に札を取り合う児童たち



ヨガに取り組む参加者

エクササイズとヨガで運動不足解消

1月16日、柏総合体育センターで「冬季エクサ&ヨガ教室」が開催され、市民25人が参加しました。

この教室は、冬場の運動不足解消を目的に市体育協会が主催したもので、エアロビクスインストラクターの成田寿子さんを講師に、11月から2月まで全10回の日程で開催されています。教室の前半では軽く汗をかく程度のエクササイズを行って基礎体力を付け、後半のヨガでは呼吸を止めないように気を付けながら体のゆがみを直し、柔軟性を高めていました。参加者は「無理のない程度に体を動かし、心地よい汗を流して、心も体もリフレッシュしています」と話していました。